

おokayama健康づくりアワード2018表彰

○ 職場部門(五十音順)

応募27社

	会社名	授賞理由
1	旭テクノプラント株式会社 (倉敷市 建設業 従業員数100人)	・会社敷地内完全禁煙を平成29年4月から実施し、社員の喫煙率も10%未満を達成している。 ・配偶者の健康づくりにも取り組み、健診受診率は90%を超えており、再検査の受診勧奨も実施している。
2	株式会社 フジワラテクノアート (岡山市 製造業 従業員数126人)	・社員食堂で栄養成分の表示をした日替わりメニューを提供し、食育で、食生活の改善を図る意識付けを行っている。 ・メンター制度を導入して4年目であるが、メンタル疾患による休職者は3年以上なく、離職率も下がっている。
3	株式会社 両備システムソリューションズ (岡山市 情報通信業 従業員数260人)	・オフィスエクササイズを実施することで、継続的な運動習慣づくりを促進し、バランスボールの使用など就業中でもできる簡易な体操を推奨している。 ・月1回禁煙デーや、禁煙コンテストの実施、禁煙外来の費用補助などの喫煙対策をしている。
4	内海産業株式会社 (岡山市 運輸業 従業員数約100人)	・健康経営方針のもと、健康診断への取組、産業医等による様々な健康教育の実施などに積極的に取り組んでいる。 ・社員全員の体力診断測定を行うことで、健康づくりへの認識を高め、運動習慣をつけるきっかけとなっている。
5	ネットヨタ山陽株式会社 (岡山市 小売業 従業員数210人)	・社員に健康プログラムニュースを毎月発行し、活動量計によるウォーキング状況など実績を掲載することで、社員の健康づくりに積極的に取り組んでいる。 ・社員の喫煙率を下げる目標を掲げ、喫煙者全員に対するセミナーの実施や、禁煙外来の補助を実施している。

○ 地域部門(五十音順)

応募55団体

	団体名	授賞理由
1	岡山県愛育委員連合会 会長:岡崎 文代	・県下全市町村において、長年にわたり、赤ちゃんから高齢者まで、あらゆる世代の方を対象に、健康づくりのための訪問や声かけを実践しており、健康な地域づくりに貢献している。
2	岡山県栄養改善協議会 会長:中島 玲子	・県下全市町村において、正しい食生活の定着を目指し、みそ汁の塩分測定や野菜一皿もう一品運動を展開するなど、県民の健康づくりに寄与している。
3	岡山県生活協同組合連合会 会長理事:近藤 清志	・健康寿命の延伸を進める取組として、個人やグループで課題を選択し、生活習慣の見直しを行うヘルスチャレンジを実施し、昨年度は約11,500人が取り組んでいる。
4	吉備国際大学社会科学部スポーツ社会学科 学科長:竹内 研	・高梁市と協力し、大学を地域住民の健康づくりの場に開放し、健康講座を年120回実施しており、市民の運動習慣の定着に寄与している。
5	公益社団法人岡山県看護協会 会長:宮田 明美	・デパートの一角で、毎週土曜日「まちの保健室」として健康相談を実施している。月に約900人が利用しており、健康に関する知識の普及に貢献している。